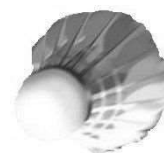


第 24 回

岐阜小学生バドミントン大会(単の部)



期 日	平成29年 2月26日(日) 平成29年 3月 5日(日)
場 所	池田町総合体育館
主 催	岐阜県小学生バドミントン連盟
後 援	池田町教育委員会
協 賛	 ヨネックス株式会社

大会役員

大会会長	尾藤 宏治		
大会副会長	天野 博江	尾藤 英邦	高井 政巳
大会委員長	田中 勝弘		
大会副委員長	福永 正弘	島岡 義和	
	青山 正美		
大会委員	小倉 一宣	大橋 奈麻輝	津田 安英
	松井 康信	浅野 實	岩田 悟

開会式次第

1. 役員・選手集合		
2. 開会宣言	大会委員長	田中勝弘
3. 挨拶	大会会長	尾藤宏治
4. 来賓挨拶	(株)ヨネックス	
5. 競技・審判上の注意	審判長	青山正美
6. 連絡事項		事務局

閉会式次第

1. 役員・選手集合		
2. 開式の辞	大会副委員長	福永正弘
3. 成績発表・表彰	(発表) 大会副委員長	島岡義和
	(表彰) 大会会長	尾藤宏治
4. 挨拶・講評	大会委員長	田中勝弘
5. 閉会宣言	大会副委員長	福永正弘
6. 連絡事項		事務局

各係・審判 担当表

低学年の部						
幹事	松井 康信	福永 正弘				
進行	松井 康信	土屋 理江子	岐南	高山	真正	大垣東
接待	田中 勝弘	大橋 奈麻輝	池田			
召集	山田 真治	田口 正明	垂井JSC	大垣中川		
記録	浅野 實		神戸	大垣北		
放送・シャトル	岩田 悟	多和田 恵子	垂井	大垣静里		
パソコン・賞状	小倉 一宣	岩田 悟	各務原	大垣市		
駐車場	小倉 一宣		茜部	長森・日野	島	
レフェリー	島岡 義和	津田 安英	小島 敏弘			
	青山 正美	渡邊 美智成	小川 数民	林 数信		

審 判 (主審)							
コートNO	担当クラブ			コートNO	担当クラブ		
1	大垣北	大垣安井	柳津	6	大垣静里	川島	多治見
2	垂井JSC	郡上	びとう会	7	垂井	岐阜市	揖斐川
3	大垣中川	羽島	トリッキー	8	大垣市	大垣東	リバース
4	岐南	本巣	Kojima	9	各務原	真正	黒野
5	神戸	大野	白鳥	10	池田	高山	可児

審 判 (各コート1試合目の「線審:2名」「点審:1名」、2試合目は「点審:1名」)							
コートNO				コートNO			
1	小林 陸	藤田 蒼生	長坂 侑樹	6	川瀬 理生	田上 寛人	小川 聖矢
2	谷口 風我	内藤 樹希	浅井 颯真	7	野村 怜央	藁科 有輝	高木 慎二郎
3	河田 佑汰	鈴木 亮賀	渡辺 隆次	8	清水 大地	加治佐 遥人	神谷 顕太郎
4	小林 翼	河合 奎弥	平塚 輝也	9	長谷川 拓海	竹中 楽流	杉浦 礼也
5	吉田 博	矢羽々 楓月	金森 大輝	10	目加田 聖斗	谷口 光我	遠藤 稜己

高学年の部						
幹事	松井 康信	福永 正弘				
進行	松井 康信	土屋 理江子	大垣北	各務原	大垣市	リバース
接待	田中 勝弘	大橋 奈麻輝	池田			
召集	山田 真治	田口 正明	真正	垂井JSC		
記録	浅野 實		岐阜市	大垣安井		
放送・シャトル	岩田 悟	多和田 恵子	神戸	大野		
パソコン・賞状	小倉 一宣	岩田 悟	大垣中川	高山		
駐車場	小島 敏弘		日置江	島	トリッキー	
レフェリー	島岡 義和	津田 安英	小島 敏弘			
	青山 正美	渡邊 美智成	小川 数民	林 数信		

審 判 (主審)							
コートNO	担当クラブ			コートNO	担当クラブ		
1	高山	大垣東	黒野	6	大垣北	多治見	茜部
2	大垣中川	大垣静里	びとう会	7	垂井JSC	本巣	Kojima
3	大垣安井	リバース	白鳥	8	真正	岐南	郡上
4	岐阜市	大垣市	揖斐川	9	大野	羽島	岐阜西
5	池田	各務原	川島	10	神戸	垂井	柳津

審 判 (各コート1試合目の「線審:2名」「点審:1名」、2試合目は「点審:1名」)							
コートNO				コートNO			
1	高橋 鼓太郎	田中 将斗	中村 壮太	6	井坂 功真	長谷川 海翔	棚橋 拓也
2	間 武琉	今井田 卓真	今井 嶺	7	武田 征之助	中居 暉	浅野 弘也
3	森岡 航平	遠藤 大	早野 有登	8	蔵谷 拓海	相澤 杏亮	河崙 翔大
4	浅井 応介	藤原 巧磨	曾我部 真暉	9	藤井 海吏	川口 大槻	永縄 陽生
5	山田 侑輝	梶田 晃世	伴 晴斗	10	鷲見 智也	水上 侑大	浅井 夢叶

審判上の注意

1 はじめに

(1) 審判の練習について

大会を行うに審判の協力をいただかなくては、大会を開催することができません。

審判の協力をしていただくには、日頃から練習が必要です。主審をする際の審判用紙の記入を始め、試合を運ぶに声のかけ方、線審をする際のジャッジの仕方などの練習が必要です。

審判の練習は各クラブで行うようにお願いします。

(2) 審判資格を有する方は審判手帳を持参してください。

① 審判手帳には日付と大会名を各自で記入の上、「審判への説明会」の時に提出してください。

② 審判手帳に記入した日付と大会名を確認して捺印後、返却します。

2 平成28年度(財)日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程・公認審判員規程、本大会「競技規程」を理解すること。

3 審判は、各クラブ内で調整し交代しながら行うよう御協力をお願いします。

4 審判への説明会

(1) 本大会で審判をしていただく方は、午前8時には集合してください。

(2) その後、大会役員の指示に従い説明会会場へ入場してください。

5 審判をする方は開会式には審判控え席で着席し、開会式終了後直ぐに試合が行えるようにしてください。

6 大会開催中の審判の流れ

(1) 審判控え席で待機する。

(2) 進行係から審判用紙を受け取る。

(3) 審判用紙を放送係へ見せ、コールを済ませる。

(4) シャトル係からシャトルを受け取る。

(5) 選手控え席で、選手と合流する。

この時、審判用紙に明記してある名前の本人確認を行う。

(6) 試合をするコートへ選手と一緒に移動し、待機する。

(7) 試合を行う。

(8) 試合が終わったら、選手に線審をするよう指示する。

(9) 審判用紙をジャッジへ提出する。

(10) 審判が交代する場合、必ずジャッジ前で次の審判担当者が来てから交代すること。

7 ワンミス

(1) 試合前のワンミスは、主審が指示すること。

(2) 主審は試合を始められることを確認したら、速やかに試合を開始すること。

大会運営規程

時間内に全ての試合を行わなくてはならないため、御理解と御協力をお願いします。
平成28年度(財)日本バドミントン協会大会運営規程に準じ行い、ローカル規程を設ける。

1 大会運営各係

(1) コート設営等の準備

- ① 本大会で大会運営に関わる各係をしていただく方、及び全てのクラブ代表者はコート設営等大会会場の設営に協力してください。
- ② 大会会場設営をする方は、午前8時に集合してください。
- ③ その後、大会役員の指示に従って会場設営をしてください。
- ④ 会場設営終了後、各係へ説明を行います。

(2) 開会式には各係担当役員の指示に従い待機し、開会式終了後直ぐに試合が始められるようにしてください。

2 各コート1試合目に出場する選手

- (1) タイムテーブルを参照し、各コート1試合目に出場するかを確認すること。
- (2) 開会式には、ラケット・タオル・飲み物等試合に出場できるよう準備をして出席のこと。
- (3) 開会式終了後、No5コートに集合すること。

※ 各コート1試合目で、相手選手が棄権した場合

- ① 各コート1試合目の勝者は審判用紙に勝者サインをする。
- ② 次に試合をする予定であったコートの線審をする。
- ③ 審判は勝者サインが記入された審判用紙をジャッジへ提出してください。

3 各コート1試合目の線審について

各コート1試合目の線審は、男子で行ってください。

別頁「各コート1試合目の線審割当表」を参照のこと。

4 各コート2試合目に出場する選手

- (1) タイムテーブルを参照し、各コート2試合目に出場するかを確認すること。
- (2) 開会式には、ラケット・タオル・飲み物等試合に出場できるよう準備をして出席のこと。
- (3) 開会式終了後、No5コートに集合すること。その後、選手控え席へ移動します。

5 線審

- (1) シングルス大会の時、選手は試合を終えたら勝敗に関わらず線審をすること。
- (2) ダブルス大会の時、敗者が試合を終えたら線審をすること。
- (3) 特に低学年においては、代わって高学年や保護者が線審をすること。
- (4) 勝ち上がった選手において次の試合が早く行われる場合は、その選手のクラブから線審を出すこと。

6 点審

- (1) 線審をしたら、次に点審をすること。

7 召集

- (1) 召集のアナウンスがありましたら、速やかに選手集合場所へ集合のこと。

8 ワンミス

- (1) 試合前のワンミスは、主審の指示に従うこと。
- (2) 主審は試合を始められることを確認したら、速やかに試合を開始すること。

8 指導者(コーチ)

- (1) 各クラブの指導者は、コーチングする試合が行われるときのみアリーナ内へ入場すること。
- (2) 各クラブの指導者は、アリーナ内で待機する事は禁止とする。

9 アリーナ内への入場について

- (1) アリーナ内へは出入りできるのは
 - ①大会役員、②審判、③大会運営各係、④コーで、IDカード保持者の方のみです。
- (2) IDカードがない方はアリーナ内への立ち入りを禁止します。
- (3) IDカードがなく、選手に代わって線審をするためにアリーナへ入ることは認めます。
- (4) アリーナ内へは体育館シューズを履いていないと入場できません。

10 その他、連絡事項

- (1) 指導者・応援者は次のことを守って下さい。
 - ① 観覧席からの選手に対するアドバイスは禁止します。
 - ② フラッシュ撮影の禁止
 - ③ アリーナ内への立ち入り禁止
- (2) 観覧席のごみ持ち帰りのお願い
- (3) 会場のトイレを使用する際は、必ずスリッパに履き替えるよう周知徹底してください。
- (4) マナーが悪い選手・保護者・クラブは今後、登録の取り消しなどを検討します。
- (5) 会場を使用するマナーアップに、御理解と御協力をお願いします。

※ 大会運営に関する如何なることについての申し立ては、クラブ代表者が申し出ることとする。

競技規程

平成28年度(財)日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程・公認審判員規程に準じ行い、ローカルルールを設ける。

本大会ローカルルール

1 スコアリングシステム（競技規則第7条、第1項、第5項、付録3）

- (1) 21ポイント1ゲームで行う。
- (2) 準決勝からは、21ポイント3ゲームで行う。
- (3) 全ての試合、スコアが24点オールになった場合には、25点目を得点したサイドがそのゲームでの勝者となる。

2 インターバル（競技規則第16条第2項）

- (1) すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。
- (2) 第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に60秒を超えないインターバルを認める。

3 指導者からのアドバイス（競技規則第16条第5項）

- (1) インプレー中のアドバイスは禁止とする。
- (2) 試合の進行を止めるようなアドバイスは禁止とする。
- (3) コーチ席で大きな声を発することは禁止とする。
- (4) 観覧席から選手へ対するアドバイスは禁止とする。

4 プレーの遅延（競技規則第16条第4項）

- (1) 選手は試合進行を遅らせるような行動をした時は、審判がイエローカードを出し警告をします。
 - ① 2回出たらフォルトとします。
 - ② 審判は、この点についてよく見て下さい。
- (2) 選手は、シャトル交換・汗拭き・給水等をする時は、必ず審判の許可を得ること。
 - ① もし、選手が勝手に行った時は、イエローカードを出し警告します。

5 異議の申し立て（大会運営規程第6章第33～36条）

本大会における如何なることへの異議がある場合は、クラブ代表者が申し出ることとする。

岐阜県小学生バドミントン大会(単) 招集表

[illegible][illegible]